第九十四號　（土曜日）　東京新聞　明治四十一年十月廿四日

東京新聞

漫言

寄書　渡邊不言

本地垂跡の說をなして日本的佛教の一生涯を開きたる眞言陀羅尼宗の開宗たる空海は、釋迦が四十九年間竪說横說したる一切の經卷を悉く顯教となし以て密教室奥に入るの楷梯となし門戸となす教が二教論に曰く因分可說果分不可說是顯教因分可說果分可說是密教と云ふは是正しく密教を以て釋天の哲理に超越せりと思はしめんが爲なり其所說を聽くに決して諸宗の如く眞如を理解に求めすして事躰に求めて曰く眞如外に非す身を棄てゝ何處にか求めんと云ひたる如き或は彼が眞言梵字觀に世間の言語に四あり撿之虛忘なり稱大日尼王の說眞言なりと其意象するに眞言とは眞實の言にして虛妄なし虛妄なるが故に火と云へば火の實躰現はれ水と云へば水の實質俱に存するが如く言語と實躰と決して離る可からざるものをこそ云ふならひか基督教の聖書を見るに約翰傳第一章に曰く太初に道あり道は神と偕にあり道は即ち神なりこの道は太初に神と偕にありきと云ふと何ぞ其相似たるや尙ほ約翰默示錄を通讀するに彼の佛教中龍樹菩薩が南天の鐵塔を開き大日如來が金剛手菩薩を相手に自受用なる說法を聞きたりと云ふと何ぞ其相似るや凡て眞理は隱識心通の中に獲得せらるゝものなるか予實嘗て曰く夫子の性と天道とを說くは得て聞く可からず と子實既に夫子の性と天道とを說くを隱識心通の中に了得するものなるか此等の心得なくして徒に聖書を讀み佛典を繙くとも眞理を獲得せし獨覺者あることを忘る可からず

●未墾地利用の許可

九月中に未墾地利用法により賃與又は譲渡の許可を受けたるもの左の如し

京畿道水原郡南郡下柳川方洞峴前坪草生地六町一畝廿六歩五合　李重燦　外三名
京畿道愛河郡　李重燦
黃海道黃州郡仁清坊栗藪里荒蕪地十七町八反三畝一歩　黃海道黃州郡三潭吉蔵
忠清南道懷德郡西面院洞草生地十町三反六畝三歩五合　外一名
京城南山町　川口芳三
慶尙南道昌原郡東面葛田里山南里草生地十七町九反二畝十五歩三合　白敬鴉
咸鏡南道咸興郡連浦面上里前甘長坪草生地百六十八町四畝二歩五合　郭鎭弘
咸鏡南道咸興郡　郭鎭弘
平安北道義州府光城面正心洞正心里荒蕪地二十四町三歩廿六歩　洪肯燮
京城南部　洪肯燮
京畿道仁川府多所面北村里前坪干潟八町五歩　京城南部　安甲善
全羅南道莞島郡多所面石場浦中分里干潟三十四町一反一畝廿四歩　鄭炳固
京城北部　鄭炳固
黃海道康翰郡新興面坊二里登山串干潟十七町一反二畝十歩　京城西部　杉市郎平
京城西部　杉市郎平
平安北道定州郡海山面二里四基洞干潟十二町六畝廿歩三合　平安北道泰川　金禎寶　外三名

開店十五周年　大賣出　累品品絕額金一千五百圓　賣出十月一日より抽籤十一月十日期間十一月五日迄日

毎二圓錄に福引枚贈呈す　直輸入　京城本町二丁目　海産物　乾物　酒類　雜貨　卸小賣商　辻屋　本店　電話二四八番　支店　電話三六六番

（四十七）

（四十七）

尊婦れ君は終に御室侯爵の愛妾となつて、れ側に侍くまとなつた。

年齢こそ若けれ、抑も藤の逢瀬を渡り初めしは十五の春にて、今年十九の秋を迎ふるまで、世の辛酸を嘗め盡くし、有と有ら ゆる惡事に慣れた阿婆擦女として、寸分の隙もあらばと、人を射るは馬よりの譬ひに洩れず、御供役たる大山には辭を低うして、些細な事まで一々相談をなし、苟めにも我任意に事を振舞ふではなく、何一つ買へばとて其の中は、先づ大山に與へると云ふ有樣ゆゑ、大山は早くもれ君の魔術に醉はされて れ君樣、れ君樣と、辭敬を拂ふに至つた。

馬にして斯の如く射落したからには、夫に乘りたる侯爵は與し易しと、高を括つたれ君は、日中なぞは如何にも高家の令嬢か、若くは若き令夫人の如く、側にこそ侍つて居るけれど、侵すべからざる氣品を示して侯爵が話かけらるゝに、辭少なにれ相手なる位で、如何にも優しくそして虫も殺さぬ樣な容子であるが、扨て夜の幕になつて床に就くが否や、これが日中侯爵の側に侍して居た君子かと思はるゝ位、總ての態度が一變して、浮世離れない、而して戀に初心な雅侯を、掌上の珠と弄び、奏運女の本性を看破されない程度の下に、拗でも見せならないかと考へまするとと、何だか今より涙が零れます。」

と、密と涙を絞り出して、長襦袢の袖に拭ふ眞似をすれば、雅は其の背を撫でながら、「なにが泣く事が要るものか、假令母様が云はうと親戚が彼樣を遮へやうと、嚴しやの家令が諫言を致さうと、予が現世に居る限りは、誰が何と申しても、れ前を見捨る氣遣はないから安心するが宜い、若も强ひて左や右面倒な事を申すものがあれば、誰彼の容赦はない、皆な尾敷から逐ひ出してやる。」

「今でこそ左樣に仰せられますけれど、私のやうな不肖な女は、永くれ側に居りまする中には、必然れ可厭になりまして、れ暇を下さるのは眼の前に見て居りますゆゑ、どうせ永くれ側に侍く事が出來ないものでございますから、れ情けの深く重りませぬ中にれ暇を頂いた方が、まだしもれ別の悲みが少ないかと存じます。」

「どうしてれ前が可厭になるものか、設へれ前が暇を下れと申しても、予の方かられ前を遣すものぢやない、那樣事は必ず心配致すな。」

廣告

清酒値上廣告

清酒大樽一挺ニ付金一圓
清酒一升ニ付金五錢
右來ル十月廿五日ヨリ値上仕候
十月二十一日
京城酒商組合

京城　四ケ所洋物店

一例年弊店が防寒毛皮類の特有販賣たる事は大方各位の已に了知せらるゝ所なり特に本年は前年に比し一層早く荷着追ては北海道カムサツカの產地より續々毛皮類の送荷案内に接し居候間不相變御用命希上候

着荷品目

一カムサツカ赤狐、獺及び豹皮、毛皮婦人襟卷、マフラ等種々
一クリスチー、グリーン等諸會社製品帽子、毛布馬車掛、膝掛、メリヤス類、獺皮付高等沓、刺繍美術屏風、ベツドカバー、クツシヨンカバー、アルバムテーブルカバー等種々

右品荷着

本年は景品付賣出し を見合せ非常大勉强廉價販賣を以て景品に換へ聊か平素の御厚情に酬ゐん覺悟に御座候間左樣御承知置被下度偏に奉願上候敬具

公告

會員募集

何時入會スルモ入會當日ヨリ勘算シ滿三十日ヲ以テ一ケ月トス
京城本町六丁目六十七番戶
韓語速成講習所

京城本町六丁目　京都　海産物　たまき張屋

急告

本院に諸種の患者求診御出相成候得共本院は純粹專門にて皮膚病梅毒淋病横痃生殖器病肛門病一般の外一切取扱不申候左樣御了知願上候也
京城米倉町六十一番戶　京城皮膚病梅毒院

勤儉の誡に聊か御賜き遊ばさぬは我が御得意樣にて候

當十月二十三日より二十七日まで

せいもん拂

特別代價は毎品紅字まてしるす
紅書なきは札直一圓ゟ附拾錢引

京城本町三丁目　丸一洋反物店　電話六三五

（多向實用品）

今二十四日午後五時開場午後六時半開演

京城基督教青年會演藝會　會場　本町座

酒井一座演劇、奏樂、琵琶、劍舞其他（入場券は當夜會場にて發賣）

（他なし毛織綿織の實用品を廉價に御常用相成が故に候）

臨時大安賣り

●從來開業中の處突然歸國の不得已に付醫療機械藥品及び患者付の器械にて至急讓渡し たし

●貸間　本欄人事部に御答申すオントル一間疊貳枚敷餘り寂國尤雅にし閑靜詳細は御來談を乞ふ永樂町佛國教會裏山田（エ二二）

古着還具買たし本町七丁目一六號真（六四）

●貸地　旭町一丁目の山の手にて風景絶佳の土地家屋附にて御貸みの御方は御來談を乞ふ　姓名在社（七〇）

●貸地　本町四ヶ所洋物店電三二一番（八二）

●至極便利なる方法にて貸金の相談に應ず但照會封書　眞金堂　龍明館內渡邊（八四）

漢城病院ヲ辭シ本町一丁目四番戶　元岩田窩眞鍼
外科　花柳病　ニテ耳鼻咽喉科眼科診療ヲナス
診療毎日自午前八時至夕
入院隨意赤貧者ハ施療ス
元漢城病院耳鼻咽喉科眼主任
從七位　醫學得業士　中村健吉

色御好みに應ずる洋服　丸染　京城本町六丁目　藤米商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●新開社の校正係又は外交員を希望年二十五五元刑申且つ活版事業に經驗ある者　姓名在社（五八）

●求婚　本年二十八月收入十圓血正後十八九の良家の淑女と結婚したし　氏名在社（六七）

●外交係入用　市內保證人あるもの本人直接來談を乞ふ　南山町二の一七三農商工組合事務所（六七）

●弟子入用　但し十四五歲のもの　氏名在社（六八）

●求婚　年廿六血統正係累無月收五十圓妻不問廿歲前後体健血正の女子と結婚したし　氏名在社（七〇）

京城又は附近にて豆粕の製造販賣所あらば御知せを乞ふ　氏名在社（七一）

●被雇度　朝九時より午後三時迄の間雇はれたし給金不望年十九保證人あり　氏名在社（七二）

夜間自宅にて筆耕に從事す御依頼の方あらば御申越し次第參堂の上委細承致すべし　姓名在社（七四）

（七二ユム生に答ふ長谷川町一丁目三〇番戶に來れ　エチ生（七五）

仲居入用　年齢十七年より廿五六年者至急一名入用但料理店に心得の有る者なれば尙宜し　大和町一江戶善（七九）

●年齢廿五歲（妻帶者）會社銀行等の小使口松屋はれたし　姓名在社（八〇）

●十四五才の小僧入用　但身元引受人を要す　氏名在社（八三）

熊本縣人　市下確氏の消息を知りたし　エヌ生（七七）

物件部

●貸間　坪割貸　四ヶ所洋物店電三二一番（八二）

●從來開業中の處突然歸國の不得已に付器械藥品及び患者付の器械にて至急讓渡し たし

●貸地　櫻井時計店（七八）

●資地　旭町一丁目の山の手にて風景絶佳の土地家屋附にて御貸みの御方は御來談を乞ふ　姓名在社（七〇）

一本町より明治町に入三軒目空地三十坪斗附の貸家あり

裁縫、刺繍、編物、造花、滿細工、英語教授する氣遣はない

和服仕立物御注文に應ず　大和町三丁目廿六番戶　古谷（八一）

新山十五間道路南大門外四平坪割貸　四ヶ所洋物店電三二一番（八二）

●至極便利なる方法にて貸金の相談に應ず但照會封書　眞金堂　龍明館內渡邊（八四）

藤橋あげ地帶あり
の
其他種々
取扱へ店頭へ陳列致置候
京城明治町
間御散歩御來觀被下度候
一丁目
飛彩里德商店

東城新聞

韓國の宗教

昨日韓國寺院の統一說を聞く、曰く各道の寺院代表者は全國寺院の統一を圖り教勢を張興するの目的を以て日本の僧侶を顧問として京城に宗務院を設置する事を內務大臣に申請し內部大臣は閣議に附し更に參與官會議に廻れり云々、之れが果して事實ならば甚だ意外にして之を認可せんとする當局の無定見に驚かざるを得ず、試に韓國の佛教なるものに就て觀察せよ、李朝以前の昔は いざ知らず近世に於ける韓國の佛教は殆ど死灰の如く、唯寺院の形骸を存するのみにて社會に對して何等の裨益もなさず、僧侶は全然社會の外に放逐せられ、衆生濟度の役目は忘却され禮供養にすら讀經することを許されず、上は皇室より下は士庶に至るまで僧侶を以て社會外の人類として輕蔑す、僧侶自身も世捨て人の如く心得て恬然怪まざるのみならず、寺院を以て待合となし佛像の前に於て男女を會合せしめ、其醜態を看過して少も頓着する所なし、尼寺は一の淫賣宿にして女僧は色界の輪廻着たり、斯る墮落せる僧侶、社會外に放逐せられて國民一般より過度の輕侮を受る僧侶を以て佛教の振興を圖らんとするは木に緣りて魚を求むるよりも難なり、韓國の寺院は數百年來社會より擯斥せられたる爲に佛教なるものは消滅し唯存在するものは其形骸のみ、之を再興して人心に感化を與へんとするは勞多くして効力少なし、然らば如何にして人心の感化を圖るべき乎、僧侶は上流間には多少行はれ居るものゝ如くなれども、是迚も唯々形式に流れて之を尊奉して實踐するものなく、殊に僧侶は多數の下流人民には解せられざる爲に僧侶あらと雖も國民を感化するの効力あらず、巫女の如きは素より是れ淫祠邪教にして害あるとも益なし、韓國民には宗教なし、故に韓國民には未來の觀念なく從て現世主義となり、唯夫れ肉慾を擅にし些の靈性的慰安なき爲に性情自ら殺伐慘酷の風に流る、未來の靈的觀念なき國民は到底美なる社會を形成する能はず韓國人が酒色の外に最大快樂なきものと思へるも要するに靈的觀念なき爲なり、渠等は麵包のみにて生るものと思へり、故に極端なる利己主義たるに至る、其衰亡は亦た當然と云ふべきのみ、之を以て韓國民の改善を謀るには渠等に未來の觀念を抱かしめ、人は麵包のみにて生るものに非ざるを知らしむるこそ肝要なれ、幸に韓國には ローマンカゾリック及プロテスタントが外國人に依りて宣傳せられ居り、日本の基督教も亦宣教を始められんとす、日本の佛教も小規模ながら開教せられつゝあり、近くは救世軍も活動せらるべし、伊藤公も近來此點に就て大に考慮せらるゝもの、如く日本基督教の傳道に對して後援せらるゝ所あらんと聞く、兎に角其着眼の堅實なるを歎はざるを得ず、當局者は此等の宗教宣布に何等の干渉する所なく、自由に開放して公平なる便宜を與へ、心靈界の開拓を盛ならしむべし、徒に寺院統一の如き愚策を行ひて世人の誤解を招き延ひて現在傳道に從事する諸宗教家の惡感を買ふが如きは決して爲すべき事に非ず、死灰の如きものを振興する云々と云ふが如き狂遠の事を なさずして、實際活動しつゝあるものを其任に當らしめよ無効力なる韓國佛教の歷史を無視して之が再興を策するが如きは勞多くして効力なし活ける基督教活ける日本の佛教を傳播することを急務なり、當局者たるもの宜しく余輩の言說に懲きて寺院統一の如き有害無益の愚策を捨つるに吝ならざらんことを敢て勸告す。

鶴原長官去る

總務長官鶴原定吉氏今回其椅子を擲つ、余輩統監府の爲に氏の去れるを惜しむの情を禁せんとするも能わず、評者曰く定吉氏在職三年而かも其間何等成せしことあらずと余輩の見を以てすれば氏が三年無爲の生活を送りたるは是定吉氏其人の罪のみに非ずして實は氏の手腕を十分に振わしめざりし伊藤統監其人の罪たらずんば非ず、世評曰ふ寧吉氏素より大人物にはあらざりしと雖而かも勅任一等中に在つては卓越したる人材たりしと、此は蓋し公評なり而して余輩亦此評に與みす。

石塚新長官

鶴原氏去つて石塚氏總務長官事務取扱を命せらる氏は準質に於ての新長官なり、氏や壯年臺灣に於て後藤東洲に於て民政長官を勤む、而かも二ヶ所に於ての在職中何等著しき事蹟を擧げたるを聞かず、說者曰ふ氏は大山元帥夫人捨松の姪壻たるの故に薩派の後援を有し伊藤公にも決して輕視せられず、果して而らば鶴原氏の如く薄遇を受くるの恐も無く其有する材幹技能を十分に發揮するの便宜を有するものと伐慘酷の風に流る、未來の靈的觀念なき國民は到底美なる社會を形成する能はず韓國人が酒色の外に最大快樂なきものと思へる角所謂殖民地的政治家としては全きを缺ること甚遠きの觀なくんばあらず、世と純官吏とは殆んど沒交渉なり、然れども總務長官に到つては而らず、氏たるもの鶴原氏の椅子を襲ふに當り衷心より三省して可なり

東京電報

▲唐紹儀の參內

唐紹儀本日參內し左の通り獻上品をなせり

花瓶　一對
貂皮打掛　一枚
右清帝より　天皇陛下へ
象牙腕環　一對
織錦　二卷
右西太后より　皇后陛下へ

●副統監の謁見

曾禰副統監は本日午前十一時より今回交代歸還せらるゝ第十三師團長中將岡崎生三、歩兵大佐志波今朝一、參謀長大佐渡邊小太郎、一等主計正田中政明、一等軍醫正柴岡文太郎、歩兵中佐足達龜治、二等軍醫正藤崎芳一、歩兵少佐坂部義勇、同山村梓、三等軍醫正村上潔、歩兵少佐杉山正之、同伊集院郁五郎、工兵大尉內藤三守、歩兵大尉廣瀨末彥、砲兵大尉宮村九三郎、歩兵大尉渡邊金藏、騎兵大尉林八郎、歩兵中尉平柳竹志、同河瀨二郎其他工學博士妻木頼黃農事試驗場技師上田榮次郎、專賣局技師奧健藏の諸氏を伴ひ參內し韓皇に謁見し岡崎師團長以下は午後四時歸營妻木博士以下は歸宅せらるゝ筈なり

●兩李の不敬事件

侍從院副總裁李會九同侍從李恒九の兩人は共に從兄弟の間柄にて恒九は總理大臣李完用の子會九は其伯父なるが兩人は何事よりか所もあるべきに去る二十日皇帝の御前に於て爭論を始め果ては所を忘れ憚らず冠を脫して格鬪するに至り殆んど一時間御前を騷がしたりと然るに韓國に依れば皇帝の御前に於て此の如き不敬の行爲ありたるものは流刑に處せらるゝの明文あるにも拘らず侍從院聊閣內奭は李總理を憚り不敬を働きたる兩李に對し何等の處分をもなさゝりしが皇帝には非常に激怒せられ閣內奭に對し兩李處分に就て御下命ありたるを以て閣氏は昨今之れが處分に就て若慮しつゝありと

●學部廳舍の新築工事

九月中旬に着手し現廳舍構內に新築中なる學部廳舍は工事費約二萬四千餘圓にして木造二階建八十坪平屋建七十八坪を階上に大臣室次官室秘書課應接を階下及び平屋建に學務局第一第二兩課會計課文書課を設くるの設計なり竣工期は來月末の見込にして竣工の上は現廳舍を本廳は會議室食堂に充て本廳裡なる事務室は編輯局に用ふる筈なり

●總會參列者の注意事項

來る卅一日の赤十字社總會には日本赤十字社員は內外國何れに於て入社したる者及總會前新に入社したる者も者しく參列するを得るの定めなるが社員は總て左の事項に注意するを要すと

一、出席社員は必ず社員章（署綬の者は謝絕す）佩用の上開會前所定の式場に就くこと

一、地方社員の爲め前以て委員部宛汽車船賃割引證を送付してあるに依り參列社員は所屬委員部に付き割引證の交付を受くべきこと

一、總會場は京城鐵路電車通り西大門內師團慕傑官舍側慶熙宮興化門より入り掛員より紀念品等を受取り式場に列すること

一、出席社員の服裝は男子はフロックコート（軍服正服）又は羽織袴女子は白襟紋付の事

一、婦人社員は婦人席に參列すること

一、總會場は京城鐵路電車通り西大門內師團慕傑官舍側慶熙宮興化門より入り掛員より紀念品等を受取り式場に列すること

一、出席社員の服裝は男子はフロックコート（軍服正服）又は羽織袴女子は白襟紋付の事

一、婦人社員は婦人席に參列すること

●軍隊歸還

平壤駐劄第五十二聯隊本部同四ヶ中隊は廿二日同地を發し二十三日午前十一時龍山より歸還せり尙同隊も見送の爲め龍山に出張せり

●韓武官の演習　韓國軍部の將校三十三名は步兵大尉池氏に引率せられ水原に於て第二回の演習を行ふ由にて一二十二日出發せり

●救世軍の布教　曩に入京せる救世軍大佐ボッガード夫妻大尉ボンウイチ下士ミルトン夫妻の一行は去る十八日西大門外英人ドナン氏方に寓居し布教を開始し當日韓人の會集約六十名あり會集中信徒となりたる者六名あり尙ボッガード大佐一行は永久京城に住し將來傳道に從事せらるゝなり

●清國密輸船捕獲　仁川稅關のデシー號は一昨日碧潼渡附近に於て安那密輸船三隻を捕獲し仁川に曳き來りたるが同船は鹽を滿載し居りといふ

●暴徒と地方の狀況（續き）

△天安管內　概して平穩なり溫陽郡地方は常に數名の賊徒徊し人心稍々不安の情態にあり其他報恩地方に少數の賊徒徊すあり

△公州管區　錦江以西定山林川郡地方には三十乃至五十の賊出沒し我憲兵と衝突せり又全羅北道金山郡地方は一時平穩なりしが本期間に至り約五十名の賊出現し近來人心不安の情態にあり其他地方に於ては平穩也

△忠州管區　一般平穩にして人民は各自生業を營みつゝあり、然れども是迄屢々徘徊せし少數の賊及前期間に出沒したる陰城郡地方の約三十名の賊は未だ其影を絕たず

△連山管區　忠淸道に屬する地區は平穩なれ共全羅北道に屬する地區なる錦山茂朱龍潭郡地方には七八名乃至三十名の賊出沒せり

△全州管區　前期に引續き尙不穩なり全州より淳昌に亘る線以西は一般不穩廿乃至四九名の賊は屢々我討伐隊と衝突せり又同線以東は前期間は稍々平穩なりしも本期間求礪郡地方にて約九十名の賊出沒せり

△大邱分隊管內　慶尙北道は一般に平穩なり全州より慶尙道に亘る線以西は一般に不穩にして約廿乃至四九名の賊は屢々我討伐隊と衝突せり又同線以東は前期間は稍々平穩なりしも本期間求礪郡地方にて約九十名の賊出沒せり

△大邱分隊管內　慶尙北道は一般に平穩なり全州より慶尙道に亘る線以西は一般に不穩にして約廿乃至四九名の賊は屢々我討伐隊と衝突せり又同線以東は前期間は稍々平穩なりしも本期間求礪郡地方にて約九十名の賊出沒せり

△忠淸北道　追丹陽分遣隊上等兵以下五名は憲兵一補助員四人より成る十月十三日丹陽西南約四里半にて約三十の賊を襲ひ首魁一名を捕へ數名を傷け銃六を鹵獲す△京畿道洪山分遣隊の憲兵二補助員三は十月十六日洪山の東方約五里に於て約三十の賊を潰走せし八を斃し銃器十一軍刀一鎗四を鹵獲す△黃海道溫井院分遣所の憲兵五補助員七は十月十日溫井院北方約二里に於て約二十の賊と衝突し之を潰走せしむ賊の負傷不明△京城憲兵五補助員七は黃海道全州部內搜索中十月十五日城頭の東一里半白雲峰の山中に於て約八十の賊と衝突し其五を斃し銃五實包九十八軍刀一を鹵獲す△開城管內搜索中なる憲兵少尉以下及補助員は十月十二日九化場北方約三里に於て約八十の賊を討ち其四を殲し銃三を鹵獲す△咸鏡南道新豐里分遣所の憲兵及補助員一は守備兵四名と共に十月十九日新豐里の西方約六里にて約三十の賊を討ち其一を殲し銃一を鹵獲す△平安南道樂水洞分遣所憲兵二補助員四は同地守備兵と共に十月十日樂水洞東方約八里にて約六十の賊を討ち其七を殲し銃一を鹵獲す

●海岸の電燈點火

仁川稅關前海岸に大アーク燈を設くべきことは既報せし所なるが愈稅關阜頭埋築地大棧橋及水產會社附近の二ヶ所に建築し一昨日より點火せり

●農大出身者の小宴　大藏省技師奧健造氏鹽業視察のため來韓し度支部技師岡田眞一郎氏及び第十三師團獸醫部長藤崎芳一氏不日歸國するに付東京帝國大學農科大學出身者十餘名は一昨夜右の三氏を巴州亭に招き送迎の宴を開きたり

●樫井丸の南浦航　仁川稅關の樫井丸は來月初旬鎭南浦に向ひ出發する筈

●龍山水害救恤演藝會　遇般の龍山に於ける水害は實に慘憺たる光景にて當時の狀況は既に各新聞に依りて報ぜられし如くなるが中村再造、和田常市、山口太兵衛氏等數十名の有志家發起にて之れが爲め蒙りし本邦人の窮狀を救はんと明二十五、二十六の兩日本町京城座に於て慈善演藝會を開し其純益に依りて救恤費に宛てんとの趣旨にて發賣したり尙は入場券は本町三丁目林田金次郎、旭町一丁目池田長次郎、本町七丁目山田幸七の三商店にて發賣するとぞ

世の進運につれて種々の事業も殖ゑ便利も亦加はり人間生活の有樣も次第に高まり行くは必竟人類の幸福を增すものにて實に喜ばしき限りなれど只奈何せん定めなきは浮世の常にして時に天災地殃あり人に疾病其他の煩らひあり榮枯盛衰忽ち處を異にして人世の幸福を享得がたきに至れるものあるは實に憐むべきの極みなり

龍山に於ける今年の水害は尙に近年稀有の慘事にして或は全家を水に浸されて住む家なきものあり或は數年粒々辛苦の中に蓄へ來れる財產を流失して着る衣なく食ふに糧なきものあり爲めに營養の途絕ゑ疾病其身を冒すも顧みるに遑なく親子相挑して飢餓に泣き夫妻相對して失職を嘆する等其窮困極度に達して殆んど名狀し難し吁嗟人世慘事固より多しと雖も斯の如きは其尤も甚しきものにして一開闢以來未だ嘗て聞かざる所若し夫れ之をしも忍ぶ可くんば天下復た忍ぶ可らざるものあらんや

時の情に於て

明治四十一年十月廿四日 日� 土曜日 第九十四號 二

樂城新聞

●美人の末路（四）

青春の血潮燃ゆる許りなる若川の若旦那は一たび政江と戯しき夢を結びてからは心も空の有頂天はゆ々の業務さへ碌々手に付かず内と外なる浮れやうに今は雨親も不思議に思ひダン〳〵横子を採り見しに終ひにいよ〳〵斯くと判りたれば父は早速厳しき意見を加へしに元來相當な教育を授かり居る若旦那のことゝて怒ちにして迷ひの夢より醒め女のことは今日限り一切思ひ諦ひる事となりしより所親は痛く安心し若旦那も當座は所親の手前減多に外へは出ず謹慎なし居りしに話變はって政江は近頃若旦那が廻の途切り同様一向下宿に寄り附かずソレに何の便りさへなきより一方ならず心配し若し他に増き花の出來しにはあらざるかソレも重き病の床に臥し居るとにもありはせずやと獨り胸をは痛めつゝもソレとなく探へ尋ねし思ひの丈を玉章に認めて送りけるに程に感日若旦那はプラリと訪ね來りしかば政江は飛び立つ許りに打ち喜び果ては氣もイソノーと其の後の様子を尋ねたりしに若旦那はいつにもなく悄け返へり、實は斯う〳〵かく〳〵の譯と包み隠しなく打ち明けタリと互ひの胸の思ふ心の深きにせよ兎ても添はれぬ縁なれば今迄の事は夢現と思ひ諦め今日限り二人の中の關係をキッパリと断つてを知つて互の身の爲めならもとの意外の言葉なるより政江は痛く打ち嘆き情ない貴郎のれ心縁あればこう互ひに交はしたれ枕と枕如何なる事情のあればとて斯く迄懇ひ憧れ居る妾しの心今更何うして分れられやうぞソレに妾しとても一たび女の操を許せし身の今日限り貴郎に捨てられしとあらば最早生涯の日蔭者エ、今の貴郎のれ言葉が怨めしいと政江は男の膝に取り縋りて〳〵と許りに泣き崩れしかば男も今更思案に暮れしばし相撫し相抱きて悲嘆の涙に搖くれしが軈て男はやう〳〵顔を擡げ何時迄斯く嘆かしとて果しなければ何うか今の自分の言葉通り思ひ諦め呉るゝやうソレに附けてもそなたとても當坐の暮し向きにも差し支ふべければ此の金は少ないなが ら收めて納められたくホンの印迄に懐中より五十圓の小金を取り出し政江に與へたりしに政江は何の返辞もなくしばし右の五十圓の金を打ち眺め居りしが稍々ありて容を正うし今迄の優しき様子とは打って變りマア呉れないチーといふをキッカケにれ巫山戯でないよとソロ〳〵本性を現はし喚呼を切り始めたり

●慈善演藝會番組

ヨ、山水害救恤の爲め本町七丁目京城座に於て明日より二日間慈善演藝會を開催すること

大韓醫院は既報の如くなるが其の番組左の如し

第一日

一、夕顔の合奏　琴（多比澤靜江）三味線（清澤末之）同（田中らい）

一、竹村義次澤合奏

一、八雲（澤田ゆき）、舞（竹中坊）一、吾妻の名殘（田中ちよ）、三十三所靈坂寺之段（山若）一、管原四段目寺小屋（清原勢）、博多二輪加（遠麿）一、奇術（ジャングラー）一、筑紫川長歌三味線（二色イロハ）

第二日

一、新高砂の曲合奏（多比澤靜江、清澤末之、竹村義次）一、六段合奏（多比澤靜江、清澤末之、竹村義次）一、舞（竹中坊）一、小供出雲八景（澤田ゆき、田中ちよ）一、ばいれりん春勇合奏（竹村義次、田中らい）一、岸姫松三段目（朝枝）一、中將姫雪責（清原せい）一、博多二輪加（遠麿連）一、奇術（ジャングラー）一、博多二輪加（遠麿連）一、小鍛治長歌（二色イロハ）

●申尚宮 拷問に逢ふ　宮内の女官

にて申尚宮と云ふは宮内女官中にても多少の勢力あるれ婆さんなるが警視廳にては申尚宮に對し何等かの嫌疑ありしと見へ過日之を拘引して取調べしも其實を得ざりしより遂に拷問して實を吐かしひることゝし拷問すること〳〵なりたり然るに拷問の日となるや前宮内大臣李允用の夫人は阿と思ひしか申尚宮拷問の場に至り親しく之を實見したり此時警吏は申尚宮を縛しした後打伏せなし磨部を捲くりて鞭を揚げて之を亂打して拷問を初めたり此体を見たる季夫人は左も氣味好げに申尚宮に向ひてあらゆる惡口を吐きしかば申尚宮も又た劣らず拷問せられながら惡口の吐き返へしをなしたりとのことなるが取調の結果申尚宮は無罪にて出獄するを得たりとのことなるが斯く女の脩を捲りて拷問をなし又た之を夫人たるものが見て惡口するなとは韓國にあらざればなにか他に見られぬ圖なり

●死兒の遺棄

昨夜午前七時半頃仁川福島組仲仕菱谷類藏といふが處用ありて觀測所下山根町一丁目を通行せる際路傍に生後約二週間を經たる乳兒（男子）の屍体を遺棄しあるたるを發見し直ちに其筋に通知したれば仁川署員出張の上取調べたるに乳兒は左手の母指は二本部合六本の指ある不具者にて死体は（アンペラ）に包みありたるが衣服其他により鑑定するに多分支那人の所爲なるべしといふ

慶尚北道高靈郡税務主事李鍾國なる者が本年其取扱ひに係る官金を拐帶して逃亡したることありしが聞く所に依れば同税務主事が着任以來各戸の税金納付額は其納付金高に依り悉くか納入書を各面長に渡し現納金控簿に記入せし同主事逃亡後は面任員等は密かに此納入書の傍に擬百圓を記入して調査の際には其記入文書を以て證據として税金を誤魔化し納入金額と税務主事の取扱ひたる現納金額との差異は逃亡したる税務主事に罪を着せつゝあることは郡中一人として知らぬものなしとの噂を聞込みたり

●高靈郡任員の不埒

●龍山本願寺の説教

龍山本願寺に於て去る本日午後七時二十分より展開教使の説教あり

●鵬室扶斯

京城黄金町番外中谷松藏（ニ十一）は廿一日鵬室扶斯に罹り青坡病院に送る

●防水塗料エンペルの實驗

岡山縣人にして札幌農學校の出身なる仁科遠平氏は我邦の家屋が土藏又は煉瓦以上防火に耐ゆる物なくして火災の爲めに貴重の財産を烏有に歸するは遺憾なる道なきを遺憾とし防火塗料につき多年の研究を積み終にエンペルと名けたる防火塗料を發明

●陸院式に答礼

大韓醫院は既報の如く去る一日東京丸の内に於てエンペル塗の土藏及塀等を建築し之れが火災實驗を爲せしが當日の光景は實に壯んなるものにして見物に來りたる數萬の東京人士に其効力の强大なるを認識せしめ發明者の雀躍は成話を得たりと云ふがそは如何なる大火にても熱度華氏二千度を超ゆることなく一定所の燃燒時間は四十分間を程度とするのなるにエンペルの試驗火事結度は二千百七十四度經過時間一時間なる試驗後に於て土藏内に容藏し置きたる提燈國旗其他種々の物品毫も異狀なく安全に取出したることの如何にも觀客を歡服せしめるの價値あり此の實驗以來建築學者技術家の間題に上り何れも現今の防火塗料としてはエンペルに及ぶものなしと云ふ

●丸一の警文掛

本町三丁目丸一反物店にては昨日より警文掛を始めたるが内に買はんと店頭入山を築くの盛況なりと

●陸院式に答礼

大韓醫院は既報の如く去る一日東京丸の内に於てエンペル塗の土藏及塀等を建築し之れが火災實驗を爲せしが當日の光景は實に壯んなるものにして見物に來りたる數萬の東京人士に其効力の强大なるを認識せしめ發明者の雀躍は成話を得たりと云ふがそは如何なる大火にても熱度華氏二千度を超ゆることなく一定所の燃燒時間は四十分間を程度とするのなるにエンペルの試驗火事結度は二千百七十四度經過時間一時間なる試驗後に於て土藏内に容藏し置きたる提燈國旗其他種々の物品毫も異狀なく安全に取出したることの如何にも觀客を歡服せしめるの價値あり此の實驗以來建築學者技術家の間題に上り何れも現今の防火塗料としてはエンペルに及ぶものなしと云ふ

●龍山本願寺の説教

龍山本願寺に於て去る本日午後七時二十分より展開教使の説教あり

●鵬室扶斯

京城黄金町番外中谷松藏（ニ十一）は廿一日鵬室扶斯に罹り青坡病院に送る

●防水塗料エンペルの實驗

岡山縣人にして札幌農學校の出身なる仁科遠平氏は我邦の家屋が土藏又は煉瓦以上防火に耐ゆる物なくして火災の爲めに貴重の財産を烏有に歸するは遺憾なる道なきを遺憾とし防火塗料につき多年の研究を積み終にエンペルと名けたる防火塗料を發明

●慈善演藝會番組

ヨ、山水害救恤の爲め本町七丁目京城座に於て明日より二日間慈善演藝會を開催すること

毎日種痘

商店一覧

南山町二丁目 植村病院 電話三三〇番

◀慶田組▶ 本店は仁川なり當地に支店を設けしは今より數年前と覺ゆ組主は慶田利吉氏質實にして機略に富み而も業務に勉勵なり一般の組員又極めて熱心にして敏捷從つて世評嘖々丁寧と迅速と勉强とは多年來顧客の膾炙する所なり現今にては韓國の運送業者中有數のものとして克く通運會社と拮抗し對峙併立の觀あるもの亦偶然にあらざるなり當地支店の主任は新原氏副主任は鮫島氏共に慶田氏を扶けて怠るなく敏捷の手腕同業者中夙に有爲の事務家として稱せらる組員十數人場所は南大門外にあり

▲青木堂▶ 本町三丁目の角にあり商品は西洋食料殊に洋酒は何んでも御座れでセリー、ウヰスキー、ブランデー、ビッパーメントルベルメッといふ工合來客をして〳〵エヘ愛憎さまと顧はりしことなしとは專門家の評なり店としては新巻の方なれど第一値段の廉いのにに客を欲にする事が馬鹿に出來ぬ好評を博し現今にては店運日々に盛んにれ蔭で繁昌しますと主人はホク〳〵喜び居れり言ふ迄もなく商賣の秘決は信用と勉强にあり至誠神をも動かすとは千古の警へ蓋し此の心を以て事に從ひなば豆萬の富期せずして至るべきは言ふ迄もなし主人にるもの幸に自玉加餐せよ焉

商酒類

清酒櫻正宗　貳千人前
關東煮　同商會
檜印刷書社　同組
洋酒模擬店　天ブラ同上
山岸天祐堂　内山嘉吉
日下部喜太郎　門屋直次郎
小澤慎太郎　小林榎右衛門
藤原熊太郎

●巷のいろ〳〵●

昨朝午前二時南部弘門洞八統一戸張輔衡（四）は自宅過突に於て門居人楊大植（八）許屏六統十戸高鎮浩（四七）石井洞七十九統十戸林炳學（二）屢向北道鄭遂郡金龍珠（四）龍山分署車幕二十統二戸姜致俊（四）同所朴齊範（三）の七人車座になり金を賭して夢我無中に博ち巡査之を嗅ぎ付け一同引致したり

◉自轉車の高飛び　南大門内陽生坊陽洞南大門内陽生坊陽洞自轉車店李貞泰方へ一昨日午后二時頃某日本人來り二時間三十錢にて自轉車を借りれ何か行つたまり

◉西部警察署内の種痘執行　西部警察署にては廿一廿二の兩日二千七百人餘の種痘執行

◉氏名詐稱で五十錢　大和町二丁目伊藤組車夫竹中鑑太郎は過日南大門通りにて巡査より其氏名を詐稱ねられ際鹿兒島縣鳥原郡人吉村時好方藏なりと申立たるより詐稱の廉にて科料五十錢の処分を受けたり

◉蛇前屋の繁昌　近頃駱洞の料理亭春日屋の前を通りかゝりたる處其れは〳〵なる蛇前屋の前に人の裏通りなる蛇前屋の繁昌は大混雑中には八字髭や書生体のものもあり右から左から立ち換り入り換り三十錢の大奮發を實行し

同可娯欄（十六）（本紙登載廣告）

●狂歌　魚友狂史

▲下宿・辻家
室も良し客扱ひも親切の
噂は高き辻家市街々々

▲同・澤田館
旅の空宿をば歴の訪るゝ
人も澤田に繁き声の葉

▲同・統明館
人の眼に月八圓の廣告は
統明錦の勉きよう下宿

（平）（民）▲不知錦の主人公大山浪子の夫武男は實名三島彌太郎と稱し現今牛込の寓居に閑雲野鶴を友とつゝあり軍人にはあらざるなり

（文）（庫）▲南山町の大園とか小園とかいふ先生八丁目のハイカラ事件の顚末は型が附き悔悟者）

（悔）▲欲張生に告ぐれ尋ねきはしたか（心配生）

▲南山町の大園とか小園とかいふ先生八丁目のハイカラ事件の顚末は型が附き悔悟者）

（文）▲欲張生に告ぐれ尋ねきはしたか（心配生）

▲不知錦の主人公大山浪子の夫武男は實名三島彌太郎と稱し現今牛込の寓居に閑雲野鶴

（平）（民）

待合 春日 京城本町一丁目北裏 支那領事館前 洋室には琵琶バイヨリン尺八笛月琴碁將棋等の備付あり御客樣方の任意娯樂に供す店

廣告

菊花壇 廣岡北道高靈郡 皆春樓 京城本町六丁目

昨年愛菊家諸氏の好評を博したる菊花の上新種數十種を輸入し今を盛に咲き亂れ本日より縱覽に供し候に付御婦人方御同道御觀覽被下度

●一本の價百圓

右は天下一品の名花山梨縣甲府に發芽したるもの東京某倉家に於て買求め秘藏中の者なるも幣樓申受け培養したるに數くべき天下の逸品にして御一見の價値確かに有之候間者と相信候

御菓差出候御注文に依り御一人前二十錢の茶御菓は御一人前金一圓五十錢に考て山海の珍味を供し候 京城新町 皆春樓

●土耳古煙草直輸入大販賣●

本社ハトルコ最大黄製造會社ニシテ其製品ハ原料精選其風味ハ良好無比ナレバ夙ニ世界各國ニ最多ノ輸出ヲナシ好評ヲ以テ迎ヘラレツ、アリ卸小賣トモ廉價ニ販賣仕候

京城本町四丁目角 デー、エス、パ子リス會社出張所

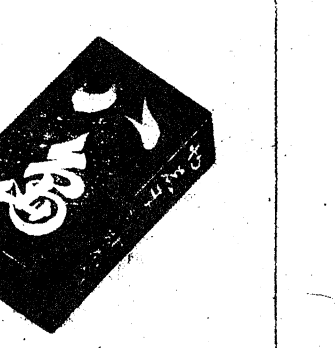
仁川港本町通 仁川代理店 穎原兄弟商會

待合開業 いねのや

庭園の楓漸く色付染み招く尾花も穂にあらはれて小菊女郎花の時待ち顔に咲出し候まゝ粋と意氣とれもてなし候まゝ御散歩旁の御來遊を乞願ひまいらせ候

京城南山町二丁目 立木よね、

新製品 巻黄



廣江商會 電五七六番

東洋拓殖會社株式募集

一募集株數 十三万九千株
一申込期限 十一月一日より十日迄
一一株の金額 五拾圓（第一回拂込十二圓五十錢）
一申込證據金 一株に付 貳圓五拾錢

當會社には年額參拾萬圓の政府補給金あり之れに關して義生盛號や同順泰あたりの信用如何をれ聞きですがソウいふ次第ですから今爰に回答の必要はありませ（一記者）

▲郵便局附近のアナ物屋の娘さんウントト誤活動なさいよ（ポスト）

▲岩見一巡昨今の狀況如何幸に自玉加餐焉（薫猶散史）

▲本月はせいもんひ拂ひも八百八萬の神さまが出雲に集り一年中の打ち合せを爲す時なり就中縁組の相談が重大問題にて之には餘程慎重の態度を取る由（金比羅・太明神）

▲太平町の大曲質店では入質物件を他へ損料貸して居るさうだ事實とすれば不都合だぜ（實見子）

株式會社 第五十八銀行京城支店

煙突掃除請負 ストーブ据付請負 電話三二四番 衛生社

産婆並に マスサージ開業 南山町三丁目百十番

戸（日本人倶樂部下手）

今般前漢城病院内科部長池田醫伯の御勧誘に從ひ前記の場所にて開業仕候 電話番號四二四番 取次 横山こいと

純良牛乳 消毒安全

龜屋の 西洋酒食料品部は 電話八二七番

京城代理店 京城本町六丁目 歐米雜貨商 岡野商店 電話五七（番）

インペリアル スポルト 各種 紫褐色

診療に從事す 理事廳前角 池田季雄

統監府通信管理局 囑託醫學得業士前漢城病院内科主任

池田内科小兒科醫院

落語

一ツ穴

（八）　柳屋圓蔵口演

妻「アヽ、然う〳〵恐ろしい色の黑い金で鍋の穴塞のやうな人ねへ……

權「此女ア乃公のことを鍋の尻だつて吐して居やアがる……アレ何か小さい聲で話して居やがるモット大へ聲を爲て遣れ……コレ白痴ッ……止せ白痴だつてへのに……アヽ此り……

妻「御苦勞だつたねへ此方へ御這入り……何う爲たんだい和前の鼻の頭と額は眞ッ黑だ然うして血が出て居るヨ

權「今板塀覗いたからだ

妻「覗いて何う爲たんだい

權「額ん藏を塀に出て居る釘で鍵割を爲たんだ

妻「顏をかざさうする奴があるもんかね

權「れ内儀さん今日斗りは乃公ア魂消ちまつた

妻「何う爲たい

權「斯う云ふ理由だ話しイするがノー膽を潰しちやア不可ねへ

妻「大丈夫だヨ

權「家を出ると鬼角にハア檀那どんが乃公ア邪魔に爲るだ本所の屋敷まで送り屆けたら直ぐ歸れ〳〵と云ふだ客子が變だから俺居ちやア無益だと斯う思つたからバンの附燒イ賣る屋臺の下へ隱れて居た檀那どんは乃公ア隱れて居るのを知んねへで乃公の方で蔣うと思つて居たが野郎の方でまかれやアがつた白痴だなんて云ひ乍ら態て歩出しから俺も跡から尾て行くと何ん……とか云ひやした……何んとか云ふ巨大へ茶屋が有つたね……

妻「ナニ龜清かい

權「然んな名ちやア無へ……ホラ兩國の角に巨大へ茶屋が……

妻「大橋かい

權「大橋だ……大橋の横町曲つて又曲つて又曲る處があるノ……

妻「ハア

權「又曲ると一イ二ウ三ッ裏を通つて廣大へ裏の角の家で格子智つてるんだ

妻「ハア……

權「其處の家ィ檀那どん駈込んだ見ると云ふと魂消たね權那どんの駒下駄ア出し放してあるだ

妻「ハア夫れから……

權「夫れから見やうと思つても見られねへ裏の方へ廻ると黑板塀に節穴があるだ節穴から覗くと魂消た

妻「何う爲たへ

五福眼藥

右ハ日露戰役ノ際滿洲ニ於テ出征兵士ノ眼疾ニ罹ル者多キヲ憂ヒ苦心ノ結果之ヲ使用シテ卓効アルヲ確認シ其方劑ヲ安住藥房ニ與エタルモノ也

陸軍軍醫監　從四位勳二等　功三級　横井愛藏

内務省前衛生試驗所技師　從六位勳六等　調劑監督　杉山仲藏

定價小十錢大廿錢切手代用　割增送費自辨此眼藥は彼の日露戰爭に際し陸軍方劑として出征將士の眼疾に使用して驚くべき靈効を現はしたり

此眼藥は如何なる惡質の眼病にても僅か二三日使用せば全治保證實に不思議の卓効あります

此眼藥は視力に最重きを措かゝる陸海軍の將士を始とし廿世紀の劇務に奔闘せらるゝ紳士學生勞働者其他有ゆる階級の人士に多大の信用を博し好評嘖々たり

本舗北區吉田町電東三三六二　安住大藥房

京城本町新井支店　同本町井口平永

京城本町近藤藥店　仁川新井本店

平壤大田町新井藥店　鎭南浦松本藥店

長命ぜんとする人は是れを讀まれよ

○岡野牧場は京城に於て最良の乳牛を有する事第一位にあり

京城に於てエ——アシヤ種ホルスタン種純粹乳牛を以て搾取する牛乳屋は岡野牧場なり

岡野牧場の牛乳は嚴密なる理學的檢査となし配達す

岡野牧場の牛乳は嶄新完全の滅菌熱消毒器を以て消毒したる者なれば風味極めて佳良なり

岡野牧場主は多年牛乳に關する經驗ありし本店は廣島市に於て敵の消毒馬車配達牛乳屋なり

岡野牧場は新町裏寶六庵道にあり

岡野牧場は品質の優秀と親切と叮寧とを以て本日誕生したるものなり

廣島市觀音村　岡野牧場本店

京城東四軒町　岡野牧場支店

申込所　本町九丁目三番戸　谷岡商店

同　本町三丁目　有田商店

○岡野牧場は京城に於て無比の勉強力を有する事第一位にあり○

京城本町壹丁目　スヘサキ商店

營業品目

▲和洋雜貨類▼

○和洋文房具卸小賣

○測量製圖器械尺度類

○最新式眞筆版發賣元

謄寫

▲諸官衙用達▼

農商工部園藝摸範場御拂下

永登浦農業組合生產物一手販賣

弊園種藝部栽培

澤庵漬用大根　興國農園

及秋蒔蔬菜類　漬物用糠、鹽

營業部

京城本町七丁目　電話（三八六番）

右責任を以て發賣仕候間多少に不拘御用命被下度候

尙追て生大根御入用に候へば特に割引可仕候

火付善く火力耐久價格低廉、用途　流鐵、暖爐、竈用に適す

周防德山海軍省煉炭所東隣　谷口無煙煉炭工場　京城特約店　京城南大門通　電話三〇六番　巴商會

韓國一手販賣　京城太平町二丁目　神田組

定價

▲第四十次連頭彩金壹萬圓　新曆十一月三日

▲第廿三次大頭彩銀壹萬圓　舊曆十一月十日

▲安徽第八十一次頭彩銀五萬圓　新曆十一月十七日

▲湖北第廿二次頭彩銀四萬圓　舊曆十月十三日

開彩

大運全紙金壹圓參拾錢

安徽全紙金壹圓貳十錢

湖北全紙金七圓五十錢（小切八十錢即チ十分ノ一）

江南全紙金七圓（小切七十五錢）即チ十分ノ一

確實發主如遠隔地方御賜求希望者御贈金並賣留信料添贈急速御用命通可贈付不誤賣願

湖北彩票根價便宜從の改正

京城銅峴十八銀行通　仁川港友那町八番戸　同順泰本店

群山同順泰支店

西洋雜貨、洋酒、食料品、各國煙草、洋菓子、化粧品、洋反物、毛氈、各式毛布、支那緞子、紋繻子、繭紬類、各國更紗、彩票每月販賣仕候

和洋御料理一品金拾五錢ヨリ金二十錢

東京　天ぷら　並丼金二拾錢　上丼金三拾錢　京城壇本町座前

多少ニ不拘御注文願候　井筒

軍用隊寶來豆

ビスケット　萬歲豆　八ツ橋

京城南大門外吉野町　塚本甘泉堂

太洋反物綿類蒲團

京城郵便局前　秋山商店　電話一七六番

純良乳

牛乳元祖　平山牧場　京城大和町一丁目　電話百三十三番

東京生蕎麥開業廣告

東京生　そば　並に天麩羅、蒲燒ほねぬきどぜう御料理仕出し

南山町三丁目　天金

特約販賣

漬物味噌醬油製造元

自製

和洋酒、麦精酒、穀物類、銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糧、塩辛各種特約販賣

尙御望に依り商品切手調進仕候

大上商店

京城本町五丁目　（電話二一五一番）

茶

薄茶濃茶　紅茶コーヒー　卸小賣

吉開春園

京城旭町二丁目

直輸入外國莨御拔露

一トルコ紙卷　エジプト紙卷

一ハバイフ、ケース、マニラ葉卷　等附屬品一

其他切右新荷物到着に付此際特別廉價を以て大勉强販賣可致候間御試驗の上御用向の程願上候

京城本町一丁目　トルコ煙草日希

D.C.MENEAS&CO.

たゞん卸小賣

京城米倉町七四　荒田たゞん工場

明法學士訴訟代理人　小川勝平事務所

京城本町二丁目（電話四百番）　大邱東門外

移轉廣告

今般左記の處に移轉し從前の通り一般患者診療の需めに應す尙ほ病室を增設し隨時入院治療を諾す

京城旭町二丁目（理事廳傍）

富久尾病院

院長　京城理事廳囑托醫學得業士　富久尾滿

登記漢城府手續

京城本町一丁目

訴願屆代書　民役所前

土地鑛山測量　岡田事務所

集金取立代辨　土地家屋賣買其他取次電話六二四

金錢貸借話般ノ仲介

土地家屋雇人口入業

金錢貸借人事物件　東屋

南大門通二丁目十三番戸

▲印刷開業▼

本日より左記の處にて開業仕候間續々御注文被仰付度奉願上候

永樂町二丁目（赤門通）　仁川活版　京城支店

▲印刷開業▼

●新聞料　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金壹錢▲三ヶ月前金壹錢▲六ヶ月前金貳錢▲國稅一ヶ月金參錢

●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲特別賣各五號活字十九字詰一行金十錢

●寄行所　新聞人　秋山忠三郎　印刷人　高木久馬　水野

發行所　京城南門外西小門通　京城新聞社　電話大三番